



小国町立小国中学校

令和 3. 12. 3 (金) No23

文責 狭間卓史



「阿蘇の力」

11月25日(火)、熊本県による世界文化遺産教育モデル校事業の取組で、本校7年生が「阿蘇火山博物館」と、阿蘇市にある「株式会社日本リモナイト」の二施設で学習させていただきました。

本県はご存じのように、阿蘇地域の世界文化遺産登録をめざしています。

私たちが暮らす阿蘇地域は雄大なカルデラという地形に加えて、その草原を千年以上にわたり維持し、それは私たちの生活に密接につながり、独特な文化を築きあげてきたという歴史があります。今回の学習もその世界文化遺産登録に向けた取り組みの一環として位置づけられるものでした。

「阿蘇火山博物館」では、阿蘇火山の成り立ちと、それが被害だけでなく、どんな恩恵をもたらしてきたのか、そして、そこで暮らしてきた私たちの祖先が、どのように活用し文化として築いてきたのかということを学びました。

また、「日本リモナイト社」の見学では、「阿蘇黄土」といわれる特別な土が、阿蘇火山の産物として貴重な財産であると言えるものだとことを学びました。実際に「阿蘇黄土」を加工したリモナイト製品が、東京都を始めとした様々な地域の汚水処理に活用される地球に優しい処理剤であること等、学校では学べない「阿蘇の力」について知ることができました。

この日の見学旅行は、自分たちが暮らす阿蘇のことについて、学ぶべき事はまだまだたくさんあることを気づけた一日でした。

7年生ご家族の皆様方には、当日の早朝からお弁当の準備等、ご協力いただき大変お世話になりました。

「これからを担う力」

次週9日に迫った生徒会選挙に向けて、毎朝、正門や生徒昇降口付近で立候補者と応援者による挨拶が行われています。あいにくの寒い朝が続き、大丈夫かなと思うほどですが、該当の生徒らは元気一杯、笑顔一杯です。やる気に溢れたその姿に、誰が次のリーダーに選ばれてもきっと大丈夫だなと期待しているところです。

それから、小学校の内村教頭先生から教えていただいたことですが、ある日の放課後に小学校の先生が駐車場の落ち葉を掃いていらっしやったところ、そこにちょうど通りかかった中学生数名が自ら進んで手伝ってくれたとのこと。とても嬉しい中学生の姿でしたとの報告を聞き、私の心もほっこりしました。これからの小国中を担う力は着実に育ちつつあります。



【地図(写真)を見ながら 小国町はここ!】



【カルデラがどのように出来たのかの実験】



【料理ではなく、これも実験です】



【元気一杯の朝】

次週9日に迫った生徒会選挙に向けて、毎朝、正門や生徒昇降口付近で立候補者と応援者による挨拶が行われています。あいにくの寒い朝が続き、大丈夫かなと思うほどですが、該当の生徒らは元気一杯、笑顔一杯です。やる気に溢れたその姿に、誰が次のリーダーに選ばれてもきっと大丈夫だなと期待しているところです。